

<1日目ポスター会場>

一般演題 (ポスター発表)

ポスター会場 (1階 特別会議室) 7/12 (土)

▶18:15~19:00

P-1 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の解剖学的再検討—第2報—

塩崎 一成¹, 伊東 宏和², 榊 実加¹, 枝 卓志², 五十嵐千浪²

(¹日本大学松戸歯学部解剖学講座, ²鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)

P-3 エストロゲン欠乏と関節円板転位が下顎頭骨変性に及ぼす相乗効果

澁坂 和夫¹, 根岸宗一郎², 坂井 信裕³, 金 英寛⁴, 中納 治久¹,
岡田 寛之⁵, 矢野 文子⁶

(¹昭和医科大学歯学研究科歯科矯正学講座, ²昭和医科大学歯学研究科顎顔面口腔外科学講座, ³昭和医科大学歯学部歯学教育学講座, ⁴京都大学医学生物学研究所生命システム研究部門, ⁵東京大学大学院医学研究科疾患生命工学センター臨床医工学部門, ⁶昭和医科大学統括研究推進センター)

P-5 関節円板部分切除術により誘導した変形性顎関節症モデルマウス下顎頭のトランスクリプトーム解析

大和田 碧, 高野 峻大, 四ツ谷 護, 関根 秀志

(東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)

P-7 新規接着充填材における歯質接着性と機械的物性の評価

久保田順子

(サンメディカル株式会社)

P-9 咀嚼筋筋電図と外耳内音声情報を機械学習させることによるブラキシズムの詳細分類の試み

城山 佳洋¹, 水口 一², 窪木 拓男¹

(¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野, ²岡山大学学術研究院医療開発領域歯科・口腔インプラント科部門)

P-11 睡眠時ブラキシズム疑いの外来患者の睡眠時咬筋筋活動数—特に基準筋電図安静区間との関係

斎藤 未来¹, 山口 泰彦², 三上 紗季³, 桜井 泰輔⁴, 前田 正名⁵,
水野麻梨子⁵, 山田 恭子¹, 高橋 萌⁵, 石丸 智也¹, 中川 悠⁵,
馬場 政典⁵, 石川裕梨奈¹, 後藤田章人⁶, 黒嶋伸一郎¹

(¹北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯・インプラント再生補綴学教室, ²北海道大学名誉教授, ³北海道大学病院口腔総合治療部, ⁴谷脇歯科クリニック, ⁵北海道大学病院クラウン・ブリッジ歯科, ⁶北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門)

- P-13 睡眠時ブラキシズムにおける口腔内診察の妥当性に関する検討
大原 崇志¹, 飯田 崇¹, 小黒 裕之¹, 江橋 葵¹, 石井 優貴¹,
岩田 好弘¹, 内田 貴之², 小見山 道¹
(¹日本大学松戸歯学部顎口腔機能補綴学講座, ²日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座)
- P-15 顎関節症患者に対する, ブラキシズムリラクゼーション療法の標準運動療法に対する追加効果—ランダム化比較試験による評価
堀 慧, 稲富 安和, 坂井 大, 田中みのり, 永田 和裕
(長岡デンタルコミュニケーションズ)
- P-17 顎関節円板障害患者の長期経過観察による磁気共鳴画像所見からみた予後関連因子の検討
三木 春奈¹, 大國 峻¹, 城山 佳洋¹, 水口 一², 前川 賢治³,
窪木 拓男¹
(¹岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野, ²岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門, ³大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座)
- P-19 2022年と2007年における顎関節症患者の病態比較
榊 実加¹, 飯田 崇², 江橋 葵², 塩崎 一成¹, 内田 貴之³
(¹日本大学松戸歯学部解剖学講座, ²日本大学松戸歯学部顎口腔機能補綴学講座, ³日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座)
- P-21 顎関節症と顔の歪みの関連性について
野澤 健司¹, 米津 博文²
(¹野澤歯科, ²鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)
- P-23 習慣性顎関節脱臼の管理と治療に関する包括的スコーピングレビュー
高原 楠旻¹, 角倉可奈幸², 岩崎 拓也¹, 加地 博一¹, 儀武 啓幸¹
(¹東京科学大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野, ²東京科学大学大学院医歯学総合研究科顎口腔腫瘍外科学分野)
- P-25 歯科衛生学生への歯科衛生士の顎関節症における指導介入の効果
北向由紀子¹, 井上 庸子², 古家 美鈴³, 米津 博文⁴, 横尾 嘉宣⁵,
池邊 哲郎⁵
(¹福岡歯科大学医科歯科総合病院, ²福岡医療短期大学歯科衛生学科, ³ライフデンタルクリニック, ⁴鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座, ⁵福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野)
- P-27 生活指導により改善した小児顎関節症の3例
壺井 英里¹, 廣瀬 尚人², 麻川 由起¹, 矢野下 真¹, 伊藤 翔太¹,
小泉 祐真¹, 久保 尚毅², 北 大樹², 大城理紗子², 小竹英里佳¹,
谷本幸太郎¹
(¹広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学, ²広島大学病院口腔健康発育歯科矯正歯科)

- P-29 非復位性関節円板前方転位と咀嚼筋・腱膜過形成症を併発した1例
渡部 雄貴^{1,2}
(¹大原総合病院歯科口腔外科, ²福島県立医科大学附属病院歯科口腔外科)
- P-31 抜歯窩から感染した化膿性顎関節炎の1例
河崎 大樹¹, 高橋 康輔¹, 枝 卓志², 服部 俊夫¹, 鈴木 雄祐¹,
田島 麻衣¹, 能勢十詩子¹, 柳楽 俊貴¹, 塚原 宏泰³, 近藤 壽郎¹,
亀井 和利¹
(¹独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院歯科口腔外科, ²鶴見大学
歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座, ³医療法人社団宏礼会塚原デ
ンタルクリニック)
- P-33 磁気式ナビゲーションシステムを併用して切除した巨大な骨軟骨腫の1例
黒田佳奈子¹, 五十嵐彩乃², 齊藤 志都¹, 千葉 雅俊^{1,3}, 野上晋之介¹,
熊本 裕行⁴, 山内 健介¹
(¹東北大学大学院歯学研究科病態マネジメント歯学講座顎顔面口腔再建外
科学分野, ²石巻赤十字病院歯科口腔外科, ³山形県立中央病院歯科口腔外
科, ⁴東北大学大学院歯学研究科病態マネジメント歯学講座口腔病理学分
野)
- P-35 非復位性関節円板前方転位に対し吸収性スクリューを用いて関節円板整位術を施行した1
例
五味 佳蓮, 諸井 明德, 井口 蘭, 吉澤 邦夫, 上木耕一郎
(山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系歯科口腔外科学講座)
- P-37 顎関節症症状出現後に生じた咬合違和感に対して顎口腔機能と咬合へのアプローチで改善に
いたった一症例
島田 淳^{1,2}
(¹医療法人社団グリーンデンタルクリニック, ²日本大学歯学部総合歯科学
分野)
- P-39 原因不明の後天的開咬に対して歯周病学的・補綴学的アプローチにより不正咬合を改善した
症例
高原 悠樹, 高岡 亮太, 植田 陽, 森岡 詞音, 山本 梨絵,
大野 恵美, 秦 健斗, 野村 健一, 相原 亜美, 難波 広哉,
玉利 秀樹, 桑原 俊也
(大阪大学大学院歯学研究科再生歯科補綴学講座)
- P-41 頸部の理学療法介入により顎関節症の関連症状が改善した一症例—歯科医との連携事例—
古泉 貴章^{1,2}, 島田 淳^{3,4}
(¹顎関節ケアラボ, ²田部整形外科, ³医療法人社団グリーンデンタルクリ
ニック, ⁴日本大学歯学部総合歯科学分野)

P-43 顎関節症初期治療診療ガイドライン 2023 改訂版リーフレット作成の取り組み—日本顎関節学会診療ガイドライン委員会—

渡邊 友希¹, 高才 東², 湯浅 秀道³, 松香 芳三⁴

(¹昭和医科大学歯学部歯科補綴学講座顎関節症治療学部門, ²東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科, ³独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター歯科口腔外科, ⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔科学部門臨床歯学系顎機能咬合再建学分野)

P-45 Precise diagnosis of TMJ retro discal tissue rupture and the outcomes of open TMJ surgery

Dong-Ho Cho, Joo-Young Park

Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Seoul National University
School of Dentistry Seoul National University Dental Hospital,
Oral Mucosa and Jawbone Experimental Immunology Laboratory,
Seoul, Republic of Korea

<2日目ポスター会場>

一般演題（ポスター発表）

ポスター会場（1階 特別会議室） 7/13（日）

▶10:30~11:15

- P-2 エストロゲン受容体 α と β は機械的負荷誘導性の軟骨細胞の炎症を異なる機構で制御する
武居 咲希¹, 廣瀬 尚人², 矢野下 真¹, 西山沙由理¹, 壺井 英里¹,
久保 尚毅², 北 大樹², 仲里みのり¹, 中嶋 亮介¹, 吉田 毬乃¹,
麻川 由起¹, 谷本幸太郎¹
(¹広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学, ²広島大学病院口腔健康発育
歯科矯正歯科)
- P-4 変形性顎関節症モデルラットにおける関節包組織の網羅的遺伝子解析
北 大樹¹, 廣瀬 尚人¹, 矢野下 真², 壺井 英里², 久保 尚毅¹,
吉田 毬乃², 伊藤 翔太¹, 小泉 祐真¹, 大城理沙子¹, 麻川 由起²,
谷本幸太郎²
(¹広島大学病院口腔健康発育歯科矯正歯科, ²広島大学大学院医系科学研究
科歯科矯正学)
- P-6 モノヨード酢酸誘発型変形性顎関節症 (TMJ-OA) モデルラットにおける, 高分子ヒアルロン酸 (HMWHA) の効果の比較と検討
佐藤 宏賢, 中尾 友也, 土田 仁, 江上 友貴, 飯嶋 雅弘
(北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系歯科矯正学分野)
- P-8 ヒアラブルデバイスを用いた顎関節症の推定
白田 頌¹, 辻 ひより², 雨坂 宇宙³, 杉浦 裕太², 村岡 渡¹,
中川 種昭¹
(¹慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室, ²慶應義塾大学理工学部情報
工学科, ³大阪大学大学院基礎工学研究科)
- P-10 閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置療法が, 顎関節症に及ぼす影響: 系統的レビューとメタ解析
石山 裕之¹, Shaoyuan LIU¹, Angkulmahasuk SUVICHAYA¹,
西山 暁²
(¹東京科学大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野, ²東京科学
大学大学院医歯学総合研究科総合診療歯科学分野)
- P-12 睡眠中の咀嚼筋活動の発生前に生じる胸部と腹部の呼吸運動の解析
秦 健斗, 高岡 亮太
(大阪大学大学院歯学研究科再生歯科補綴学講座)

- P-14 咀嚼筋痛障害の患者に対するボツリヌス療法の効果について
恵下田有咲, 塚原 宏泰, 坂井 彩花, 山中 美優, 椎熊美沙子,
塚原 妹美
(医療法人社団宏礼会塚原デンタルクリニック)
- P-16 睡眠時ブラキシズムと咀嚼筋痛が顎口腔領域の感覚に及ぼす影響
江橋 葵¹, 飯田 崇¹, 榊 実加², 細川 麻衣¹, 山本 泰³,
内田 貴之⁴, 小見山 道¹
(¹日本大学松戸歯学部顎口腔機能補綴学講座, ²日本大学松戸歯学部解剖学
講座, ³日本大学松戸歯学部口腔外科学講座, ⁴日本大学松戸歯学部歯科総
合診療学講座)
- P-18 あごの関節・歯ぎしり外来における1年間の顎関節症患者の実態調査
坂井 陽^{1,2}, 水橋 亮^{1,2}, 渡會 侑子^{2,3}, 鈴木 達大^{2,3}, 川名 桃香^{2,4},
永田 琴乃^{2,4}, 水橋 史^{1,2,3,4}
(¹日本歯科大学新潟病院総合診療科, ²日本歯科大学新潟病院あごの関節・
歯ぎしり外来, ³日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座, ⁴日本
歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学)
- P-20 成人期の顎関節症症状と口腔機能障害の程度との関係に関する調査
島田 淳^{1,2}, 相良美奈翠¹
(¹医療法人社団グリーンデンタルクリニック, ²日本大学歯学部総合歯科学
分野)
- P-22 咀嚼筋腱・腱膜過形成症における筋突起と側頭筋の発達が開口量に与える影響
江副 祐史¹, 野上晋之介¹, 梶田 倫功², 黒田佳奈子¹, 菅井 優生³,
芦田 桂樹¹, 千葉 雅俊⁴, 山内 健介¹
(¹東北大学歯学研究科顎顔面口腔再建外科学分野, ²東北大学歯学研究科顎
顔面口腔腫瘍外科学分野, ³東北大学病院歯科顎口腔外科, ⁴山形県立中央
病院歯科口腔外科)
- P-24 顎関節症患者の姿勢傾向と測定器の有用性
篠崎 皓介^{1,2}, 菅沼 岳史¹, 犬井 知美¹
(¹昭和医科大学歯学部歯科補綴学講座顎関節症治療学部門, ²昭和医科大学
スポーツ運動科学研究所)
- P-26 咬合改善と犬歯誘導により開口障害の改善がみられた Angle II 級 2 類症例
松木 秀河, 渡邊佳一郎, 高田 一樹, 田中 栄二
(徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野)
- P-28 下顎枝矢状分割術による顎関節の経時的変化
古谷 忠典
(医療法人社団ユニ矯正歯科クリニック)

- P-30 新型コロナウイルス感染後に生じた顎関節症の改善症例 2 例についての検討
中島 潤子
(なかじま歯科医院)
- P-32 右側顎関節に滑膜軟骨腫症を生じた 1 例
濱田 悠貴^{1,2}, 宮本 一也¹, 小田切宏樹^{1,3}, 酒井 洋徳¹, 栗田 浩¹
(¹信州大学医学部歯科口腔外科, ²飯田市立病院, ³浅間南麓こもろ医療センター)
- P-34 保存的療法と外科的療法を併用して改善した難治性の変形性顎関節症の 1 例
篠島 悠¹, 大井 一浩¹, 杉本 京平¹, 西野 紗英¹, 深川友里恵¹,
川野 晃誠¹, 山下 耀子¹, 植木 皓介¹, 定梶 嶺¹, 吉田 完²,
小山 岳海³, 川尻 秀一¹
(¹金沢大学大学院医薬保健学総合研究科外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野, ²市立敦賀病院歯科口腔外科, ³公立能登総合病院歯科口腔外科)
- P-36 顎関節症と診断された三叉神経近傍腫瘍の 1 例
岡部 克彦, 小林 泰, 高塚 茂行
(公立松任石川中央病院歯科口腔外科)
- P-38 咬頭嵌合位 (IP) -下顎後退位 (RCP) 間距離を設定した犬歯誘導部付与型スタビライゼーションプリントの使用により症状消退した顎関節症患者の 1 症例
秋山 仁志, 我妻 由梨, 横山 正起
(日本歯科大学附属病院総合診療科)
- P-40 症状が改善しない慢性の顎関節症に咬合が関与していたと思われた一例
島田 淳^{1,2}
(¹医療法人社団グリーンデンタルクリニック, ²日本大学歯学部総合歯科学分野)
- P-42 顎関節症に関連した症状に対して理学療法士の関与により症状が改善した一症例
島田 淳^{1,2}, 古泉 貴章^{3,4}
(¹医療法人社団グリーンデンタルクリニック, ²日本大学歯学部総合歯科学分野, ³顎関節ケアラボ, ⁴田部整形外科)
- P-44 顎関節症初期治療診療ガイドライン 2023 改訂版に関するアンケート調査—日本顎関節学会診療ガイドライン委員会—
小野 康寛¹, 藤原 夕子², 湯浅 秀道³, 松香 芳三⁴
(¹ひたちなかファミリーデンタルクリニック, ²東京通信病院歯科口腔外科, ³独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター歯科口腔外科, ⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔科学部門臨床歯学系顎機能咬合再建学分野)